

2000年1月1日～2018年3月31日の間に 当院において膵癌の手術を受けられた方及びご家族の方へ

「膵癌および微小環境でのがん増殖・転移促進分子の同定」へのご協力の お願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学臨床腫瘍学 講師 山村真弘
研究分担者 川崎医科大学消化器外科学 教授 上野 富雄
川崎医科大学病理学 教授 森谷 卓也
川崎医科大学病理学 講師 藤原 英世
川崎医科大学生化学 教授 山内 明
川崎医科大学臨床腫瘍学 教授 山口 佳之

1. 研究の概要

多くの癌で癌細胞およびその周囲組織において、S100 タンパク質が多く産生されています。S100 タンパク質は、炎症が起こっている組織で産生されていることが報告されているタンパク質群で、現在約 25 種類の亜型が報告されています。膵癌においてもこのタンパク質が多く発現し、癌細胞の活性化に関連する可能性が考えられています。さらに癌細胞周囲では線維芽細胞が増生していることが知られており、線維芽細胞の増生も癌細胞の活性化に関与する可能性が考えられています。しかし、S100 タンパク質と線維芽細胞による膵癌細胞の活性化の詳しい機能についてはまだよくわかっていません。S100 タンパク質の発現増加と線維芽細胞の増生が“がんの転移”を促進している可能性が考えられますが、これまでそのような研究はありませんでした。本研究では、膵癌組織および周囲での S100 タンパク質の発現の有無を検討し、癌転移・癌増大および予後との関連を解析することにより膵癌の増殖・転移促進分子の同定を行うことが目的です。

本研究に関する検査は、既に手術で取り出されて保管されている膵癌の組織標本を用いて行われます。患者さんに新たなリスク、経済的負担、謝礼はありません。研究結果は、将来の膵癌の患者さんの治療方針を決める際の大切な指標となることが期待されます。また、これまで知られていない癌の増殖・転移促進分子が発見される可能性があり、このような分子は癌の治療戦略上、重要な標的となる可能性があります。これらの研究成果は今後の医療

の進歩につながることを期待できます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2000年1月1日～2018年3月31日の間に川崎医科大学附属病院消化器外科において膵癌の手術を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

2018年6月15日～2026年6月30日

3) 研究方法

2000年1月1日～2018年3月31日の間に当院において膵癌の手術を受けられた方で、研究者が診療情報および切除標本の膵癌組織および周囲でのS100タンパク質の発現の有無を検討し、癌転移・癌増大および予後との関連を解析することにより膵癌の増殖・転移促進分子の同定を行うことが目的です。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、手術法、病理所見、遠隔転移、再発の有無、予後、等
試料：手術で摘出した腫瘍組織

5) 外部への試料・情報の提供

この研究に使用する試料・情報は、必要に応じて以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。共同機関との情報や試料のやり取りは、郵送で行います。

共同研究機関

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 細胞生物学分野

6) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学臨床腫瘍学内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲

内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年6月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学 臨床腫瘍学

氏名：山村 真弘

電話：086-462-1111 内線 44518（平日：10時00分～12時00分）

ファックス：086-464-1134

E-mail：yamamura @med.kawasaki-m.ac.jp

< 研究組織 >

研究代表機関名 川崎医科大学

研究代表責任者 川崎医科大学 臨床腫瘍学 山村 真弘

共同研究機関

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 細胞生物学分野 阪口 政清

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。